

シンポジウム

# 発達障害の早期の気づきと その後の支援を考える

一切れ目のない支援体制の確立に向けて



鳥取県立総合療育センター院長代理、鳥取大学名誉教授

基調講演者 **小枝 達也 氏**

演題「発達に課題のある子どもへの気づきと支援  
～5歳児健診の意義と効果について～」

先生が平成8年度から鳥取県で行なわれた「5歳児健診」は、先駆的な取り組みとして高く評価され、今年度子ども家庭庁によって全国的に展開されることになりました。すべての発達障害児に遅くとも小学校入学前後には気づき、適切な支援が受けられるよう、就学時健診マニュアル作成や通級指導教室設置、学習障がい児のためのT式平仮名習得法等の取り組みを系統的に行なってこられました。先生の実践を通して、切れ目のない支援体制の構築がなぜ必要なのかを考え、その構築に向けて私達に何ができるのかを一緒に考えませんか。

令和6年

日 時

11月24日 日  
13:00～16:30

場 所

南区民文化センター ホール

(広島市南区比治山本町16-27)

参加費

事前申し込み 1,500円

当日参加 2,000円 ※資料代・運営費を含みます。

12:00 開場 (受付開始)  
13:00 開会  
13:05～14:45 基調講演  
(休憩)  
15:00～16:00 シンポジウム  
16:00～16:30 ディスカッション

## シンポジスト

川合 紀宗 氏 (広島大学 ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 教授)

野瀬 澄子 氏 (広島市こども未来局 こども青少年支援部 母子保健担当課長)

村主 裕子 氏 (発達障害専門家会議 前事務局長)

コーディネーター 角野 直美 氏 (児童発達支援センター エポック 所長)

共催

発達障害の課題に取り組む各分野の専門家による会議  
一般社団法人 クローバーの会

後援

(申請中を含む)  
広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県医師会、広島市医師会、広島弁護士会、広島県商工会議所、広島障がい者就労支援協議会、A型事業所連絡協議会、広島県社会福祉協議会、広島市社会福祉協議会、広島県民生委員児童委員協議会、広島市民生委員児童委員協議会、広島県臨床心理士会、日本学校心理士会広島支部 (B1研修ポイント対象)、広島県精神保健福祉士協会、広島県社会福祉士会、広島県作業療法士会、広島県言語聴覚士会、広島県精神障害者家族連合会、広島自閉症協会、広島市手をつなぐ育成会、広島県私立幼稚園連盟、一般社団法人 広島県保育連盟連合会、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、中国新聞社

お申込み

こちらのQRコード  
またはURLより  
お申込みください

<https://niddcouncil.peatix.com>



お問合せ

iclover.office@gmail.com